

**【事務事業調査】**

事務事業名	チームティーチング事業	予算科目 コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業		
			10-01-02-003-04-02		
担当部署	こどもみらい課	担当	学校教育担当	事業の分類	既存事業
		サブリーダー	斎藤 雅人		

**事務事業の概要**

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	学力向上のさらなる推進のため、また、特別支援教育の徹底のため、非常勤講師を配置する。障害を持つなど特に配慮が必要な小中学校の児童生徒に対し、各学校に「特別支援教室」を開講し、個々に応じた勉強等の支援を行うため講師を配置。(各学校の児童数に応じて配置) 中学校教諭の配置状況により、教科によって教える教諭が不足する際の教科補助担当講師を配置し、さらに増加する「保健室登校の生徒」に対応する講師を配置する。	知的・情緒的に配慮を要する児童生徒に対しては、授業中の配慮児童生徒への対応やクラスから取り出しにより落ち着いた場所で1対1の学習が行えるなどクラスにとっても個人にとっても効果的な学級運営を図ることができる。
実績		

**活動指標**

指標	目標値	達成値	特記事項
配慮が必要と判断される児童生徒数に対する取り出し授業の実施率	70%		現在就学している児童生徒に対し学校が配慮を要する児童生徒が146名在籍していると報告がある。様々な環境や状況から、情緒的にも知的にも配慮が必要とする児童生徒が年々増加している。

**事業費(計画)**

細 節	金 額	積 算 根 拠
1 賃金	43,632,000	勤務日数:202日 賃金単価:特別指導1,300円、一般指導1,200円 基礎学力向上分 ・複式学級補助1人×1,300円×8h=2,100,800円 ・免許外教科解消2人×1,300円×8h=4,201,600円 特別支援教育分 ・特別支援学級補助4人 小学校2人×1,200円×7h=3,393,600円 中学校2人×1,200円×8h=3,878,400円 ・特別支援教室補助6人×1,300×8h=12,604,800円 ・配慮児対応補助10人 小学校8人×1,200円×7h=13,574,400円 中学校2人×1,200円×8h=3,878,400円 合計23人 43,632,000円
2		
3		
4		
5		
6		
7		
	43,632,000	

**事業費(実績)**

細 節	金 額	特 記 事 項
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
	0	

**事業経費**

		計 画	実 績	特 記 事 項
予 算	当初予算額	43,632,000		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0		
	差引(一般財源)	43,632,000		